

昭和60年度 体験入学実施（予定）一覧

喜多方商業			●	商業実践、総合実践、情報処理、タイプライティングの実習
喜多方工業		●		NCプログラム作成、コンピュータ操作等
耶麻農業	●		●	糖度検定、手芸製作
西会津			●	タイプライティングの学習、パソコンの実習（在校生との共同学習）
大沼			●	調理実習
会津農林	●		●	測量、パン製造、デザート作り
田島	●		●	草花栽培実習、測量器具、農業機械等実習
平工業		●		実習状況の見学、各科の体験学習
平商業			●	計算、タイプライティング、電算機実習の見学並びに体験
小名浜			●	希望者によるタイプライティング、パソコン実習
小名浜水産			●	各学科ごとに実験実習を実施及び「福島丸」乗船体験
磐城農業	●			実験実習の見学、草花鉢植実習、牛乳加工実習
勿来			●	タイプライタ、マイコンの操作
勿来工業		●		小学科別実習の実演公開、マイコン、測定の取扱い
四倉			●	作品展示見学、アイロンプリント実習、フルーツポンチ実習
双葉農業	●			実習の見学、野菜の収穫、測量器械の操作
相馬農業	●		●	実験実習の見学、作品展示、各科実験実習体験
飯館分校	●		●	総合実習見学、糖度測定、調理実習
小高商業			●	タイプライティングの操作、コンピュータ操作
小高工業		●		実習公開、実験実習の見学と体験
新地			●	調理実習見学、授業参観
会津中央(定)	●			農場見学、収穫実習

でいました。

県立東白川農商高等学校

農・家・商業科の体験入学

本年度の本校体験入学は、七月二十日（火）、三十一日（水）の両日にわたり、猛暑の中で行われました。参加者は、中学生や中学校教師、さ

らには中学生の親達の、本校に対する関心が高まったためか、第一日百五十六名（七校）第二日九〇名（六校）と例年の約五〇パーセントの増加がみられました。特に本年は、ここ十数年来入学者のなかった茨城県の大子中学校、生瀬中学校からの参加者がありました。内容は全体会、分科会、在校生との懇談会とし、さらに分科会は農業、商業、家庭の三学科から二つの学科を選



家政科でヨーグルトゼリーの製作・東白農商高校

扱させる方法で行ないました。

まず全体会では、校長の話、ビデオによる学校紹介（三〇分）、学校概況説明、日程説明を行いました。つづいて、分科会に移り、男子生徒は農業科、商業科の体験を、女子生徒は農業科、商業科、家政科の中から二学科を選んでの体験学習をしました。農業科では、校内の温室、食品加工室等の施設の見学、実験室でのメロン、スイカの糖度測定の実習、スライドによる学校農場（社川農場）の見学を行い、現代の農業の一端にふれることができたようです。商業科では、和文タイプ、カナタイプ、コンピュータ室でのパソコン操作などの体験をし、また家政科では、

調理室でヨーグルトゼリーの製作を行い、でき上がるまでの時間を利用して家政科の概要説明や家庭経営実践室などの施設を見学しました。そして、自分たちでつくったできたてのヨーグルトゼリーを試食し、調理の楽しさをおとして家政科で何を学ぶのかなどについて話しあいました。

昼食後、中学校側からの要望の高かった在校生との懇談会を持ち、各科代表生徒九名と生徒会役員三名の生徒と中学生との懇談会をもちました。在校生からは、それぞれの学科の特徴や、クラブ活動、部活動、生徒会行事などの話題が出され、中学生は身近な先輩の話に耳を傾けていました。短い時間ではありましたが、中学生にとっては、高校生と直接話しあえ、疑問点に答えてもらえるということで意欲をもってのぞんでおりましたので大変効果的な方法でありました。

閉会に先だつて、アンケートを実施しましたが、その中で「部活動のことをもっと知りたいかった」「わからなかつたことへの不安が消えた」「大変楽しく体験入学ができた」などの感想が多く出てきました。この日体験入学に参加した中学生達は、高校生活に大きな関心を寄せ、この一日に一つでも多くのことを体験しようとし生き生きと目を輝かせて臨んでいました。